

## 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画の見直しについて

### 1. 趣旨

第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画について、計画策定時点においては社会・経済に非常に大きな影響を与えていた新型コロナウイルス感染症は令和5年5月をもって国が感染症分類を2類から5類相当に変更したことにより、同感染症を原因とする行動規制などは大きく緩和された。その一方、不安定な国際情勢や為替相場に起因するエネルギー価格や物価の高騰は市内の中小企業・小規模企業に大きな影響を与えている。

本計画はP58「(3) 進行管理」において、社会の変化に適時、適切に対応するため、必要に応じ計画期間中においても見直しを行う旨を記載している。ついで、令和6年度において計画の目的を達成するため第1回目となる計画の見直しを下記のとおり行う。

### 2. 見直し内容

つぎのとおり計画の一部見直しを行います。

ページ	見直し案	現行
48	<p>【迅速な解決を目指す課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <del>新型コロナウイルス感染症による影響</del></li> <li>● <del>物価高騰等による影響</del></li> <li>● 経営資源不足</li> <li>● 科学技術の発展による需要の変化</li> </ul>	<p>【迅速な解決を目指す課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症による影響</li> <li>● 経営資源不足</li> <li>● 科学技術の発展による需要の変化</li> </ul>
49	<p><u>基本方針1 「事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援」</u></p> <p>【方向性】 <del>新型コロナウイルス感染症による影響</del>、<del>エネルギー価格</del>や物価の高騰、気候変動、生産年齢人口の減少等の急激な社会環境変化に対応し、市内中小・小規模企業が多様かつ持続的な経済活動ができるよう関係機関と連携して支援策に取り組むことで本市経済の発展を目指します。また、デジタル化社会の進展や消費形態・流通システムの変容を見据え、社会全体の変化に市内中小・小規模企業が対応できるようにすることや、デジタルファーストやゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み等新たな分野にチャレンジする機運を市全体で高めていくことを目指します。</p>	<p><u>基本方針1 「事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援」</u></p> <p>【方向性】 新型コロナウイルス感染症による影響、原油価格や物価の高騰、気候変動、生産年齢人口の減少等の急激な社会環境変化に対応し、市内中小・小規模企業が多様かつ持続的な経済活動ができるよう関係機関と連携して支援策に取り組むことで本市経済の発展を目指します。また、デジタル化社会の進展や消費形態・流通システムの変容を見据え、社会全体の変化に市内中小・小規模企業が対応できるようにすることや、デジタルファーストやゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み等新たな分野にチャレンジする機運を市全体で高めていくことを目指します。</p>
49	<p>【推進施策】 1-1 <del>新型コロナウイルス感染症対策及びエネルギー価格</del>・物価高騰対策等の取り組み</p> <p><del>新型コロナウイルス感染症拡大</del>や<del>エネルギー価格</del>や物価高騰等の状況を注視し、地方創生臨時交付金等を活用しつつ、必要な対策を行っていきます。また、コロナ禍に対応した無利子・無担保融資の返済については、一部の事業者において返済が困難になり、企業経営に大きな影響を受けるため、返済期限の延長や借換等の支援策について国や県に対して働きかけます。</p>	<p>【推進施策】 1-1 新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策の取り組み</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰の状況を注視し、地方創生臨時交付金等を活用しつつ、必要な対策を行っていきます。また、コロナ禍に対応した無利子・無担保融資の返済については、一部の事業者において返済が困難になり、企業経営に大きな影響を受けるため、返済期限の延長や借換等の支援策について国や県に対して働きかけます。</p>

ページ	見直し案	現 行
49	<p>1-2 観光産業の振興</p> <p>出雲大社を代表とする観光資源は総合振興計画のキーワードである「出雲力」を生み出す原動力の一つです。<del>しかしながら、宿泊・飲食サービス業、小売業等に代表される観光産業は今、新型コロナウイルスによる需要の低迷の影響を強く受けています。行動規制が緩和されたアフターコロナの社会において、宿泊・飲食サービス業、小売業等に代表される観光産業の回復振興に向けて以下の項目に取り組みます。</del></p> <p>(1) 関係機関と連携したイベントの実施や観光資源のPR等、出雲独自の観光地域づくりへの取り組みを強化します。</p> <p>(2) 出雲ならではの魅力を活かした周遊・滞在型観光やインバウンド観光の誘客支援に取り組みます。</p> <p>(3) 高付加価値化を目指した旅行プランの需要拡大に向け、PRや地域づくりに取り組みます。</p>	<p>1-2 観光産業の回復</p> <p>出雲大社を代表とする観光資源は総合振興計画のキーワードである「出雲力」を生み出す原動力の一つです。しかしながら、宿泊・飲食サービス業、小売業等に代表される観光産業は今、新型コロナウイルスによる需要の低迷の影響を強く受けています。観光産業の回復に向けて以下の項目に取り組みます。</p> <p>(1) 関係機関と連携したイベントの実施や観光資源のPR等、出雲独自の観光地域づくりへの取り組みを強化します。</p> <p>(2) 出雲ならではの魅力を活かした周遊・滞在型観光やインバウンド観光の誘客支援に取り組みます。</p> <p>(3) 高付加価値化を目指した旅行プランの需要拡大に向け、PRや地域づくりに取り組みます。</p>
51	<p>1-10 地域内での経済循環の促進</p> <p><b>出雲市版デジタル地域通貨「いずも縁結びPAY」を導入し、引き続き商工団体等と連携して市民の地元消費を喚起することで、地域内での経済の活性化及び資金循環を促進します。また、将来的には市内事業者間での「いずも縁結びPAY」を活用した取引の実装を目指します。</b></p>	<p>1-10 地域内での経済循環の促進</p> <p>商工団体等と連携し、地産地消、市民の地元消費、市内事業者間での取引の推進等、市内での経済循環を促進するための啓発・PRに取り組みます。</p>
54	<p>3-2 創業支援</p> <p>(1) 創業希望者を対象に、創業の準備段階から事業化までの各段階で創業セミナーを開催します。</p> <p><del>(2) 斐川企業化支援センター内に設置しているインキュベーションルームを活用し、創業時の経費負担軽減を図ります。</del></p> <p>創業者数の増加に向けて、市内における創業意識の醸成に係る取組を推進します。</p>	<p>3-2 創業支援</p> <p>(1) 創業希望者を対象に、創業の準備段階から事業化までの各段階で創業セミナーを開催します。</p> <p>(2) 斐川企業化支援センター内に設置しているインキュベーションルームを活用し、創業時の経費負担軽減を図ります。</p>
51	【目標数値】 観光入込客数 1,260 万人	【目標数値】 観光入込客数 1,250 万人
51	【目標数値】 いずも縁結びPAY 加盟店舗数 700 店舗	【新規】
	【目標数値】 いずも縁結びPAY アプリ登録者数 19,000 人	【新規】
53	【目標数値】 ①企業との交流会参加学生数 80 人/年 ②いずも学生登録登録者数 1,600 人	【目標数値】 ①企業との交流会参加学生数 80 人/年 ②いずも学生登録登録者数 1,230 人
53	【目標数値】 「いずも暮らし」及び「IZUMOZINE」 ホームページコンテンツアクセス件数 52 万件/年	【目標数値】 「いずも暮らし」及び「IZUMOZINE」 ホームページコンテンツアクセス件数 38.8 万件/年
54	【目標数値】 創業件数[累計] 390 件	【目標数値】 創業件数[累計] 320 件